

善意の思い出は消えず 虫生部落へ疎開者が感謝の訪問

「四十年前は大変お世話になりました」と東京都墨田区立緑小学校の児童だった人（当時五年生）たちが、十一月十一日虫生の広済寺に訪れました。

虫生部落の訪問は今回で四回目。

今回訪れた方がたは、稲葉捨己先生他十名で、胸にはわかりやすいように名札をつけてきました。

当時五年生だった人たちも今では五十代に入り、「自分たちが疎開していたこの地がふる里です。今日は当時を思い出しながら部落の道を一歩いっぽ踏

み締めました」と目がしらをあつくしながら話していました。

地元の人たちも「昔を忘れずによく来てくれました」と部落をあげての歓迎、「郷土料理で昔を思い出すように」とおもちゃ漬けものなどを作ってもてなしました。

ほのぼのとした心温まる旧交に、だれもが心打たれたようです。

広済寺学寮

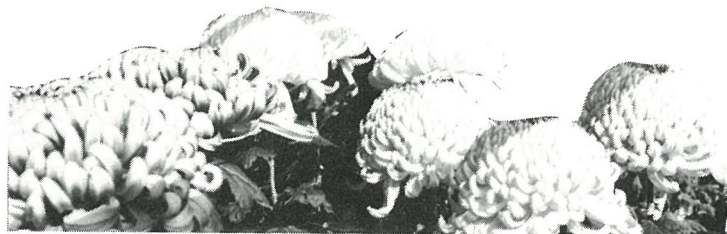
昭和十九年八月疎開

東京都墨田区立緑小学校五年生、三十五人他先生・寮母等の五人。

昭和二十年四月岩手県へ再疎開するまでの八カ月間。



なつかしく昔しを語る稲葉先生



晩秋の香いっぱい 老人クラブ菊花展

十一月一日から十日まで、庁舎前広場を会場に老人クラブ菊花展が開かれました。

今年例年になく寒さがいつまでも続き、その後の日照続きで菊の発育にはけっしていい条件ではなかったようです。

開催期間中は大勢の人がつめかけ、丹精込めた作品に魅入っていました。

入賞者は次のとおりです。

(敬称略)

- 厚物首席 藤代忠良(宮内)
- 管物首席 浅野よ志(入)
- 盆栽首席 宇井聖宝(篠本一区)
- 補助首席 斉藤 貢(傍示戸)
- 切花首席 高木 勉(篠本二区)

球技大会のあと さつまいもで腹を満腹に……

十一月十日午前十時三十分から日吉小学校で、五十九年の球技大会の納会が行われました。

肌寒い一日でしたが子どもたちは元気に、思う存分球技と触れ合い、大会の後は校庭に設けられた仮設のかまどで、子どもたちが丹精こめて作ったさつまいもを煮て、みんなで試食しました。

運動した後だけに子どもたちはおいしそうに口にほおばっていました。



皆んなで食べるさつまいも、最高

関区で 親子の コミュニケーション



袋の中に入ってはねるのむずかしいよ……

十一月十一日、関区のソフトボール大会と運動会が白浜運動公園で行われました。

区民の親睦と親子のコミュニケーションを目的に行われたもので、午前中行われたソフトボールでは丘チームが優勝。午後一時三十分から運動会、プログラムには障害物競走や芋掘りなど、もりだくさんの種目が組まれていました。

大人も子供も意気投合。日曜日の一日、忘れがちな親子のコミュニケーションが十分計られました。

“あぶない” 荒れた農地の雑草、刈取りを……